



第30回青森県理学療法士学会のご案内

第30回青森県理学療法士学会
学 会 長 尾 田 敦
準備委員長 長内 央臣

謹啓

清秋の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、第30回青森県理学療法士学会の演題募集要項についてご案内申し上げます。今回は30回の節目の学会となり、「特別講演・教育講演」を予定しております。講演テーマが下記の通りに決定致しましたので、お知らせ致します。

演題募集については、他学会・研究会・症例検討会等での口演内容や卒業論文を発展させたもの、地域活動報告など、広く募集を致します。皆様が今年度までに行ったあらゆる活動について報告し合い、互いに意見交換を行える場として位置づけたいと考えております。また、今学会を東北・全国学会など他の学会発表に際しての予行演習の場としても、皆様に活用して頂く良い機会でもあります。新人、ベテラン会員問わず、多数のご応募をお待ちしております。

謹白

記

会 期：平成18年3月18日（土）～19日（日）

会 場：弘前大学医学部保健学科

総合研究棟 第24講義室（6F）、第21講義室（5F）

TEL 0172-39-5981（理学療法学専攻直通）

内 容：特別講演

テーマ；『無酸素性運動能力の評価』

講 師；岩田 学 先生（弘前大学医学部保健学科教授）

教育講演

テーマ；『運動制御理論と運動学習理論の臨床応用』

講 師；木村貞治 先生（信州大学医学部保健学科教授）

一般演題（口述、ポスター）

【演題募集要項】

1. 応募資格

- 1) 筆頭者は青森県理学療法士会会員に限ります。
- 2) 原則として、演題は未発表のものに限ります。

2. 募集期間

随時、募集を受け付けます。

演題仮登録の締め切りは、2005年12月16日（金）、抄録の締め切りは、2006年1月13日（金）です。

3. 応募方法

1) 演題仮登録方法

(1) メールによる仮登録

メールの件名に「演題応募」と記し、メール本文に演題名（サブタイトル）、発表者及び共同演者の氏名及び所属、希望する発表形式（口述、ポスター）を必ず明記して下さい。

登録後、演題受付をメールにて返信致します。送信から5日以上経過してもメールが返信されない場合はお手数でも、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

(2) 郵送、FAX、電話による仮登録

A4版用紙1枚に、演題名（サブタイトル）、発表者及び共同演者の氏名及び所属、希望する発表形式（口述、ポスター）を必ず明記して下さい。または電話にて上記項目をお伝え下さい。登録後、演題受付のはがきを郵送致します。発送から10日以上経過しても受付はがきが届かない場合はお手数でも、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

2) 抄録原稿

(1) 抄録原稿作成方法

抄録原稿は、A4版用紙1枚とし、演題名（サブタイトル）、発表者及び共同演者の氏名及び所属（発表者にアンダーライン）、キーワード（3個以内で各キーワード間は中点で区切って下さい）、本文の順で書いて下さい。本文は、目的、方法、結果、考察、まとめ等の小見出しをつけて2,000字以内にまとめて下さい。メールによる演題仮登録をされた方には、登録終了後、抄録書式（Wordまたは一太郎形式）を返信致します。郵送、FAX、電話で登録された方は、下記の「抄録原稿規格」を参考にして下さい。

(2) 抄録原稿送付方法

メールで送信される場合、件名に「抄録原稿」と記し、メール本文に演題名（サブタイトル）、発表者及び共同演者の氏名及び所属を必ず明記して下さい。抄録原稿は別ファイルで作成し、メールにファイル添付して送信して下さい。

郵送される場合、フロッピーディスク、CD-R、CD-RW、USBフラッシュメモリにWordまたは一太郎形式で保存し、かつ用紙にプリントしたものを同封して下さい。記録メディアは学会当日にお返し致します。

3) 応募先および問い合わせ先

〒036-8511 弘前市野田2-2-1

津軽保健生活協同組合健生病院 リハビリテーション科

山内 茂寛 宛

TEL 0172-32-1171 FAX 0172-35-1678

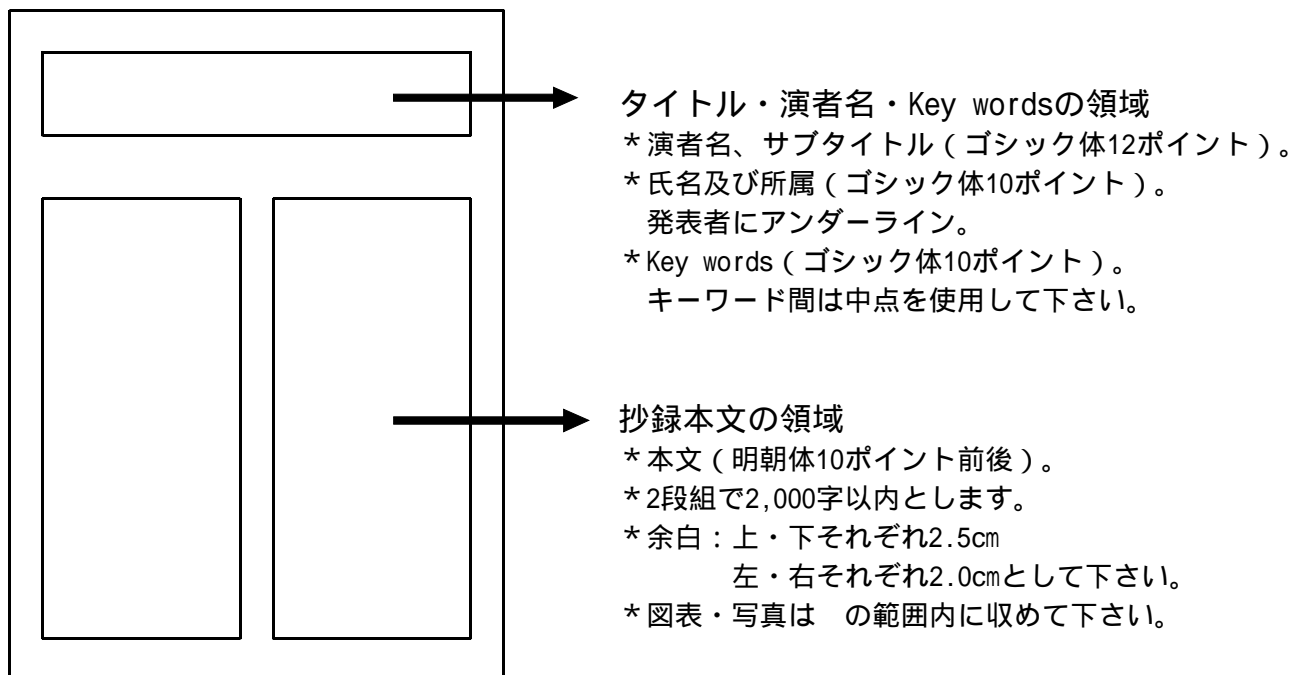
メールアドレス：aomoricpt30th@yahoo.co.jp

4) 抄録原稿の規格

抄録原稿を作成する際には、下記の規格を参考にして作成して下さい。

規格を大幅に超える場合には、抄録印刷の際、はみ出した分の文字が印刷されない可能性がありますので、ご注意下さい。

【抄録原稿規格】



4. 発表形式

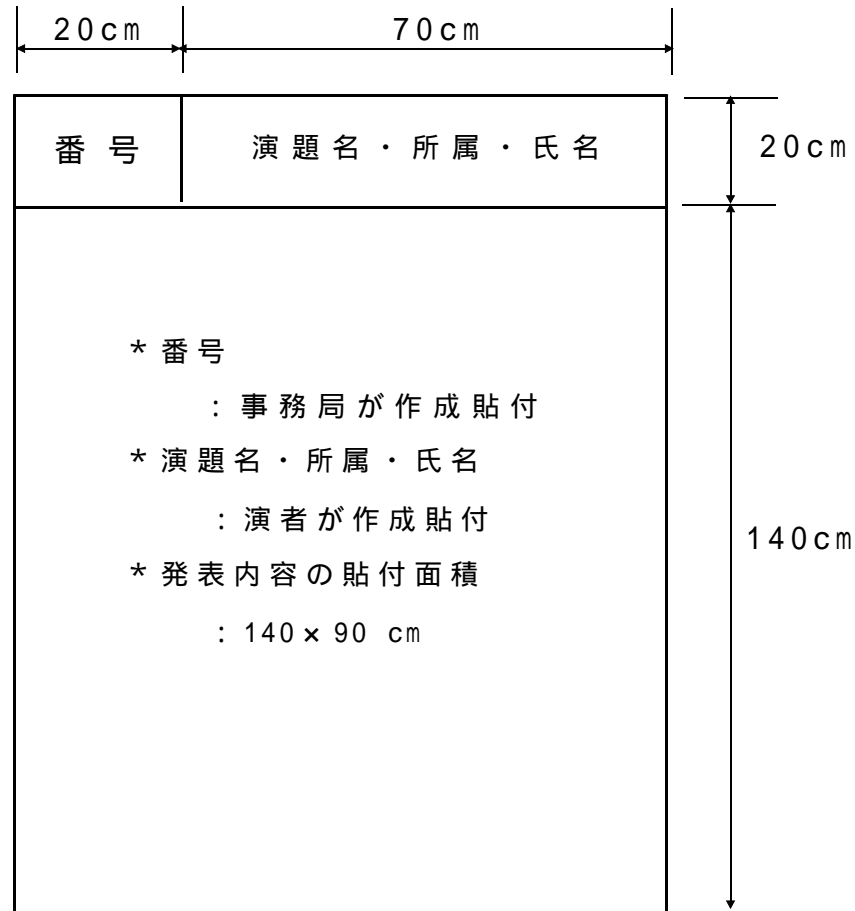
1) 口述発表の場合

- (1) 発表時間は7分以内とし、3分程度の質疑応答時間を設けます。
- (2) パソコン（Power Point）での発表とします。記録メディアはフロッピーディスク、CD-R、CD-RW、USBフラッシュメモリの使用が可能です。
- (3) 1演題における枚数制限はありませんが、発表時間に収まるように注意して下さい。
- (4) Macintosh で作成した場合は、必ず windows で動作確認して下さい。

2) ポスター発表の場合

- (1) 演者は指定された時間帯の間、各自のポスターの前で待機し、質疑に応じて下さい。
- (2) 発表時間は3分以内とし、5分程度の質疑応答時間を設けます。
- (3) ポスター作成要項
 - ・ポスターの掲示面積は、縦160cm×横90cm（図参照）です。演題番号の部分のをぞいて、演題名、所属、氏名は、縦20cm×横70cmの大きさで見やすいように各自作成して下さい。演題番号の部分は学会事務局で用意します。
 - ・ポスター貼付領域（縦140cm×横90cm）をはみ出さないように注意して下さい。
 - ・ポスターパネルへの貼付は各自で行って下さい。貼付用画鋏は会場内に用意してあります。

【ポスター規格】



平成17年度青森県理学療法士会症例検討会

学術局長 村上 三四郎
研修部 佐井川 匠秀

昨年度より名称を変更し開催しております「青森県理学療法士会症例検討会」についてご案内致します。

発表者による話題提供をもとに、ディスカッション形式をとりながらおおいに日頃の悩みや、経験談を語り合える場にしたいと思います。

つきましては、会員の皆様より広く演題の募集を致します。例年新人会員中心としてまいりましたが、先輩会員の皆様にも、日頃の臨床活動の成果や疑問について発表する機会として大いに活用して頂きたいと思致します。

尚、本会の発表者には新人教育プログラム「症例検討」の単位、参加者には「症例検討」の単位がそれぞれ認定されます。

- 記 -

と き：平成17年12月3日（土）・4日（日）（予定）（演題数により期間短縮あり）

と ころ：青森県立保健大学

参加費：500円

申込先：（医）芙蓉会芙蓉会病院 理学療法室

佐井川 匠秀

TEL.017-738-2214 FAX.017-738-2249

E-mail：fuyo-rigaku236@fuyoukai.or.jp

締 切：平成17年10月14日（金）

発表希望者の方へ

発表内容は症例報告に限らず、日頃の業務に関する悩みなどをまとめて頂いてもかまいません。締切までの抄録の作成は不要ですが、上記期日までに発表の意志、できれば（仮）タイトルをお知らせ下さい。

= 診療報酬改定に対する基本的な考え方 =

社会局保険制度対策班 板井 英樹

P T協会より、診療報酬改定の見直しについての意見を厚生労働省保険局へ8月5日提出しております。

今後の改定の動向など、今回の意見を参考にしたものになるのか、関心が寄せられるところと感じます。

簡単に内容を項目別に掲載しますが、詳しくは、日本P T協会ホームページをご覧ください。

”良質な理学療法体制の構築”と題して、

理学療法士による理学療法の提供

施設基準の見直し

適正な理学療法科の設定

予防的理学療法の評価

在宅リハビリテーション（医療から介護への連続性）の充実

疾患別リハビリテーション料の評価

外来及び訪問リハビリテーションの充実（医療と介護の連携）

という項目分けとなっています。

意見・コメントなどございましたら、以下までご連絡下さい。

国民健康保険百石病院 リハビリテーション科 板井 英樹

TEL 0178-52-3111 FAX 0178-52-3110 E-mail：ex0178@hi-net.ne.jp

- ご案内 -

第1回青森県理学療法士会 地域リハビリテーション研修会プログラム

開催日時 平成17年10月30日（日曜日）

場所 青森県立保健大学

主催 青森県理学療法士会 社会局

開催テーマ 地域リハビリテーションに関する最近の動向

開催内容 4講演（プログラム参照）

申し込み むつりリハビリテーション病院 リハビリテーション科 中村、坪、浅田、千葉
〒 035-0094 青森県むつ市桜木町13番1号

TEL 0175-24-1211 FAX 0175-24-4820 email pt@rihabiri-mutsu.jp

申し込み期限 10月17日（月曜日）

対象： 青森県理学療法士会会員、関連団体地域リハ従事者

参加会費： 1000円（半日の場合は500円）

プログラム

9：30 受付開始

9：55 会長あいさつ

10：00 講演1 介護予防に関する最近の動向 40分

一部事務組合下北医療センター

むつりリハビリテーション病院 中村正直 先生

質疑応答 5分

10：45 講演2 通所リハビリテーションに関する最近の動向 40分

恵寿福社会老健施設

青森ナーシングライフ 柏崎智子 先生

質疑応答 5分

11：30 休憩10分

11：40 地域理学療法研究会 20分

内容説明、組織説明、今後の方向性

12：00 午前の部終了 昼食 各自で準備

13：00 講演3 訪問リハビリテーションに関する最近の動向 40分

青森県立保健大学健康科学部理学療法学科 桜木康広 先生

質疑応答 5分

13：45 講演4 訪問看護ステーションにおける最近の動向 40分

- 在宅呼吸管理支援

青森県立保健大学健康科学部看護学科 細川満子 先生

質疑応答 5分

14：30 終了

本研修会は、卒後教育プログラムの認定単位となります。すべて受講した場合、地域理学療法、理学療法トピックスの単位となります。詳しくは学術局へ問い合わせ願います。

リハ・カレントトピックス&レクチャー 第17回日本リハビリテーション医学専門医会学術集会

日時：平成17年10月22日（土）～23日（日）

会場：ぱ・る・るプラザ

内容：

10月22日（土）

シンポジウム（13:10～15:40）

嚥下障害のリハビリテーション

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 「非VF系摂食・嚥下機能評価法」 | 馬場 尊（藤田保健衛生大学） |
| 2. 「VEのこつと臨床的応用」 | 藤島 一郎（聖隷三方原病院） |
| 3. 「VEのこつと臨床的応用」 | 石井 雅之（川崎医科大学） |
| 4. 「摂食訓練の展開と嚥下障害食」 | 藤谷 順子（国際医療センター） |

パネルディスカッション（15:50～18:20）

臨床研修必修時代におけるリハビリテーション科専門医養成システムについて

10月23日（日）

特別講演1（9:30～10:30）

「リハビリテーション科専門医」のIdentityと求められる専門医像

宮野 佐年（東京慈恵医科大学）

特別講演2（10:35～11:55）

「電気診断学における最近の進歩と臨床応用」

馬場 正之（弘前大学医学部神経統御部門）

ランチョンセミナー（12:05～13:05）

「脳卒中急性期リハビリテーションupdate」

石神 重信（浜松市リハビリテーション病院）

一般学術演題（13:10～16:00）

リハ専門医の学会ですが、専門医以外の方の参加も歓迎いたしております。

参加費：リハ専門医会会員以外（PT，OT，ST，Nrs，学生等）1,000円

問い合わせ先：青森県立中央病院 リハビリテーション科 山田 伸

〒030-8553 青森市東造道2-1-1 TEL 017-726-8188



ボーリング大会のお知らせ！ (続報)



前回のニュースでお知らせいたしましたボーリング大会について、詳細が決まりましたのでお知らせいたします。

日 時 : 平成 17 年 10 月 15 日 (土) 16 時より
場 所 : イーグルボール (十和田市東4番町3 39 0176 25 1155)
懇親会 : 18 時より (会場については、参加者の皆様に追って連絡いたします)
参加費 : ボーリング大会 1500 円 懇親会 4000 円 (予定)

ゲームは 2 ゲームを予定しております。組み合わせにつきましては事前の参加状況によってランダムに決定いたしますが、基本的に交流を深めてもらう意味で同じ病院・施設同士チーム編成にならないようにしたいと思います。また、景品についてですが、チームは上位3チームおよびブービー賞で、個人賞は上位 3 人と中間賞、ブービー賞を考えています (なお、ブービー賞は罰ゲームを含む可能性があります)。当日はボーリング大会のみ、または懇親会のみでの参加でも可能です。

参加希望の方は、10月12日までに川崎までご連絡いただけますようお願い致します。
皆様のご参加、お待ちしております。

<連絡先>

川崎 朗

介護老人保健施設ハートランド (訪問看護ステーション えがお)

TEL : 0176 25 2590

アドレス : peperu-an-urepep@sirius.ocn.ne.jp

訂正とお詫び

前回発行された県士会ニュース (NO.270) の中で誤りがありました。2 ページ目の心臓リハビリ研修会の印象記の原稿作成者を弘前脳卒中センター 藤田俊文先生と記載しておりましたが、同施設の中村信也先生の誤りでした。その点を訂正するとともにお詫びいたします。

～ 施設開設による県士会員の異動のお知らせ～

弘前市に弘前脳卒中センターの開設により以下の 9 名が新施設に異動となりました。

須藤真史、浅利尚美、工藤育子、藤田俊文、中村信也、岩谷奈津子、内田有美、相馬千尋、木村護郎

住所 : 〒 036-8104 青森県弘前市大字扇町一丁目 2 番地 1

TEL : 0172-28-8220 FAX : 0172-28-7780

E-mail : pt_staff@hirosakistroke-c.jp

～ 理学療法士求人情報～

財団法人鷹揚郷・腎研究所・弘前病院

募集職種：理学療法士 1名

待遇：当院規定により優遇（詳細は面接にて）

問い合わせ先：財団法人鷹揚郷・腎研究所・弘前病院

〒036-8243 弘前市小沢字山崎90

TEL：(0172) 87 - 1221 FAX：(0172) 87 - 1228

担当者：事務長 中西 寿生

【財務部通信】

17年度会費納入について

会費自動引き落とし者へ

次の方は、下記へ振り込みをお願いします。

竹内 康子、木野 美也子、佐々木 梨香、加藤 義人（該当口座なし）

会費自動引き落とし以外者へ

次の方は、下記へ振込をお願いします（9月29日現在）

盛田 寛明、奈良 剛、成田 康子、石川 孝幸、三浦 純子、栗林 輝生

澤田 隆憲、阿部 透、川村 志保、岩織 好信、大久保千明、岩井 和広

李 相潤、獅子内善行 12,000 円のみ

館山 智格、藤田 貴志 11,000 円のみ

会費納入方法は下記の通りです。早めに振り込んで下さい。

士会費 12,000 円の振込先 振込み手数料 210 円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013

名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

協会費 11,000 円の振込先 振込み手数料 120 円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 [平成17年度会費 1名分 佐藤洋 8692] 協会会員番号

と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

尚、領収証が必要な方は、下記へ御連絡下さい（昨年、連絡を下さった施設には入金を確認できれば送付します）。また、どうしても6月15日まで納入できない人は、自動引き落としにして下さい（振込手数料無料、公共料金と同じく忘れなくて済む）。連絡を下されば引き落としの申込書を送らせて頂きます。どうぞ御協力をお願いします。

不明な点は 国立青森病院 リハビリテーション科
佐藤 洋

TEL 0172-62-4055(271)

E-mail rehab@aomori.hosp.go.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

【ニュース編集部通信】

今回の原稿締切は、平成17年10月25日(火曜日)です。
原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当に
フロッピーディスク、FAX、E-mailのいずれかにて、送付して下さい。

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

§ ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北：工藤 寛教（あおもり協立病院）

〒030-0847 青森市東大野2丁目1番地10号 TEL 017-762-5500 FAX017-729-3260

E-mail: celeste_urg1@mail.goo.ne.jp

(電話・FAXは病院、メールアドレスは工藤先生個人のものであります。ご注意ください。)

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒039-1161 八戸市河原木字八太郎山10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail: ptsilver4000@yahoo.co.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（弘前脳卒中センター）

〒036-8104 青森県弘前市大字扇町一丁目2番地1 TEL 0172-28-8220 FAX 0172-28-7780

E-mail: pt_staff@hirosakistroke-c.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

事務局ニュース編集部長：梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒039-1522 五戸町字苗代沢3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail: pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員：伴 久美子（黒石病院）

工藤 寛教（あおもり協立病院）

藤田 俊文（弘前脳卒中センター）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

加藤 義人（なかざわスポーツクリニック）

久保 稔（八戸整形外科クリニック）

外交局広報部（HP担当）：安田 友久（青森労災病院）

編集後記

9月に入っても残暑で暑い日が続いていましたが、最近では（9月下旬）朝晩かなり冷え暖房器具が恋しい季節になってきました。また、暖かい温泉も恋しい季節にもなってきました。最近なかなか温泉に行く機会がありませんが、この季節の変化を期に県内の温泉に行きたいと思っている今日この頃です。皆さん御推薦の温泉場がありましたら是非教えてください。（文責：梅村）

奥 付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内

〒038-1216 南津軽郡藤崎町榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail；ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp